

1 策定趣旨

京都府では、平成16年5月、地方機関の再編により、広域振興局を設置し、平成17年3月には、それぞれの広域振興局において地域振興計画を策定し、以後、現地現場主義の観点からそれぞれの地域の特性に応じた地域振興を進めてきたところです。

京都府中丹広域振興局においては、福知山・舞鶴・綾部の3市が、歴史的にそれぞれ独自に形成してきた生活・文化・経済圏をいかしつつ、相互に連携することにより、新たな魅力や文化を創造する素地を形成し、一層元気になっていくよう、平成17年3月に「『新中丹』シンフォニー」、平成23年1月に「中丹地域振興計画（以下、「前計画」と表記。）」を策定し、その実現に取り組んできました。

新しい京都府政の基本指針となる「明日の京都」は、変化の激しい時代にも柔軟かつ機動的に様々な問題に対応できるよう、いつの時代も変わることのない府政運営の基本理念や原則等を示す「基本条例」、めざす将来の京都府社会の姿を示す「長期ビジョン」、府域全体を考えながらこれからの京都づくりの戦略をまとめた「中期計画」に加えて、それぞれの地域が有する特色ある資源をいかす「地域振興計画」で構成されています。

このたび改定した地域振興計画は、前計画に基づき推進してきました各施策の進捗状況や成果、前計画策定以降の社会経済情勢の変化等を踏まえ、「明日の京都」長期ビジョンでめざす京都府社会の実現に向け、中丹地域の資源や特性をいかした地域振興をさらに推進していくため、地域の実情を踏まえた将来像を描き、それを実現するための今後（平成27年4月から平成31年3月まで）の重点的な方策を示しています。

特に本計画においては、約10年間に3度の大きな水害に見舞われたことを受け、自然災害等から府民の皆様の暮らしを守るための取組強化を図るとともに、少子化・高齢化が進んでいることから、抜本的な少子化対策や高齢者が健やかに暮らせる環境づくりにも力を注ぐこととしています。

一方、京都縦貫自動車道等の高速道路や京都舞鶴港の整備も大きく進展してきたことから、これらの社会基盤を活用した人流や物流の拡大、若者等の定住につなげるための取組を進めるとともに、引き続き、地域住民の方々との協働による地域づくりに重点的に取り組むこととしています。

今後は、この新しい「中丹地域振興計画」に基づき、引き続き管内3市や地域住民、NPO等地域団体、大学、企業の方々等と連携・協働しながら、地域の将来像「関西広域交流時代の『みやこ』をめざして」の実現をめざし、5つの基本方向に基づく重点施策を推進していくとともに、5つの地域の主要プロジェクトの実現に向けて取り組んでまいります。

なお、本計画に取り上げていない多くの課題についても、上記「中期計画」に基づき取り組んでいくこととしています。

